

第 1 章

結論

1.1 今後の方針

以上では，超小型衛星の信頼性向上の為の不具合分析支援の手法に関して示し，テストケースに対する実践例を示した．今後，いくつかの故障例を考えて実践し，本手法を用いて不具合分析を行った結果と，指標を提示せず任意でコマンドを選択した結果を比較し，本手法の有効性を検証したいと考えている．比較する際の評価軸としては

- 効率的に不具合の切り分けが行えたかどうか（打ったコマンドの数で評価）
- 安全に切り分けを行うことができたかどうか（電力，姿勢の変化によって評価）

を考えている．

また，これらの信頼性を試験結果から学習させることによって，対象とする衛星に対するモデルの再限度を高め，効率的な不具合分析を行うことが可能になる．